

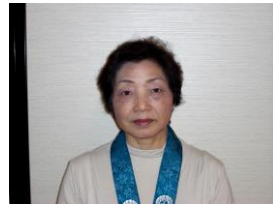


むくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

評議員を拝命して



仏教婦人会総連盟理事
新潟教区仏教婦人会連盟評議員

田中信子

今年度より評議員というご縁をいただきました元上組・明鏡寺門徒の田中信子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

六月に第一回評議員会が開催され総連盟の理事(研修委員長)を拝命いたしました。身の引き締まる思いと責務の重大さに押しつぶされそうですが、一步一步進んでまいりたいと思います。み教えを喜び合う評議員さんとの出会い、阿弥陀如来さまの智慧と慈悲に包まれ「御同朋御同行」と手を携えてあゆむ道を教えていただき、今ここにお参りできるご縁をいただいた喜びで胸がいっぱいです。

九月に「はじめての本願寺」、十一月には「第十八回若婦人中央研修会」が開催され、そのスタッフとして参加させていただきました。本願寺を会場として全国から参加の方々との交流を行いながら浄土真宗や仏婦に関わりをもつ機縁となるよう、また次世代を担う若婦人の育成を図ることを目指しておりますが、教区の皆さんから是非ご参加下さるようお待ちしております。

これから私たち評議員は御恩報謝の毎日のなかで、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向け、また時をおなじく京都で開かれます第十四回世界仏教婦人大会に向け、日本全国、世界中の御同朋の皆さんに喜んで

発行所:

新潟教区教務所
長岡市与板町
与板 4356
Tel (0258) 72-2120
F (0258) 72-2536

多くありますが健康に留意したいと思えます。

合掌



今思うこと

新潟教区寺院女性会連盟会長

眞谷直子

母屋のじいちゃん 分家の嫁ごみんな みんな おまいり まいり

これは、仏教讃歌集にあります『ふれあるき』という、在家がお勤めになる報恩講に、近所の方々をお誘いして回る歌の一節です。軽快で楽しそうな様子が生き生きと伝わってくる歌です。

皆様方は、今年の報恩講に何人の方をお誘いなさいましたか。私自身は報恩講を無事勤め上げることへのみ力を注ぎ、ご案内を差し上げるだけであつたと、反省しております。

このような私が大役を軽はずみに引き受けてしまいました。その御蔭で教区内の様々な方々との出会いの縁をいただき、毎回教えられることばかりです。

教区には、数多くの団体がありますが、御念仏に救われ、御念仏を相続していこうという願いは同じはずです。冒頭の『ふれあるき』のように、おじいちゃんも、若いお嫁さんもみんなみんなお参りしていただくために、仏婦をはじめ他の団体とも助け合いながら、お手伝いしていききたいものだと思っています。

今年度の行事

与板組

○仏教女性会

与板組仏教女性会連盟研修会「育ちあういのち」

(二月二十一日 於・新瀨別院)

①与板組僧侶によるリレー法話

②音楽礼拝の練習 親鸞聖人七五〇回大恩忌法要のおつとめ 「宗祖讃仰作法第三種」

・昨年までは、昼食をはさんで開催していましたが、若い人たちに参加していただけるよう午前中に、今年からやってみようと、試験的ですが時間変更しました。

(早川)

○寺院女性会

平成二十一年度与板組寺院女性会総会(六月四日)

「キッズサンガ開催に向けて」研修会(七月十七日)

・親睦として昼食を食べてから午後の研修に参加しました。講師さんからキッズサンガの説明をきき、いくつかのアイデアを実際にやってみました。夢中になり楽しかったです。

勤式研修会(九月七日)

・親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けての宗祖讃仰法のおつとめの練習をしました。

まだ日にちは決まっていますが親睦会を計画しています。(中院)

長岡組

○仏教婦人会

※西楽寺仏教婦人会の活動紹介

西楽寺仏教婦人会研修旅行(五月二十三日)

・七年に一度のご盛儀「長野善光寺」研修旅行

バスでお参りしたが、とても混雑して予定時刻が遅くなった。

第十六回西楽寺仏教婦人会総会(七月二十日)

①おつとめ みようけい子ども会と一緒に

②総会 婦人会事業・予算について ダーナについて

③お話 西楽寺住職

④おとき

⑤法話 「浄土真宗は難しい教え？」 講師 旭勲師

⑥お念珠づくり

⑦恩徳讃

○寺院女性会

リサイクル活動Ⅱ使用済みローソクの回収(六月)

・長岡福祉協会へリサイクルキャンドルの材料として提供

・仏壇店経由でアフガニスタンの電気のこない地域に利用していただく活動に参加(十月)

ボランティア活動Ⅱ町田園施設に於いて、

毎月第一木曜日十時半〜十三時

・入居者の食事介助やタオル・ナイロンたたみ等のお手伝い

研修活動(五月)

・全会員に「いのちの音が聞こえる」鈴木章子さんの四十七年(本願寺出版社)の書籍を配布

・【予定】長岡組主催の聞法会に参加(毛利・春日)

○仏教婦人会

元上組仏婦連盟総会(六月六日 於・了明寺)

さわやか講話会協賛(七月五日 於・専徳寺)

講師 黒川哲爾師

講師 小野沢裕子師

元上組

○寺院女性会

元上組寺院女性会連盟平成二十一年度第一回研修会

・他にも連研に参加し、「み仏の教えに学ぶ」学習会をやっています。私自身後半は体調不良で参加することはできませんでしたが、ご縁でお役をいただけましたことは感謝であります。私が視野の狭い人間であったことを、たくさんの方の経験から知ることができました。

まず健康に感謝し、今後もひとりでも多くの方々とともに参加出来たらと思います。(中野)

○寺院女性会

元上組寺院女性会連盟平成二十一年度第一回研修会(十一月七日)

・救命処置講習/参加者七名

①心肺蘇生法とAEDの使用法

②成人の救命処置法と小児(一才以上八才未満)の救命処置法との相違点

③気道異物の除去方法

(予定)第二回研修会(平成二十二年二月)

・お念珠の修理 (麻田)

三条組

○仏教婦人会・寺院女性会

三条組みのり会研修会

(十月三日)

・親鸞聖人御旧跡越後七不思議巡り

参加者二十二名(小学生一名)

田代家(山田の焼き鮎) ↓西方寺(鳥屋野の逆竹)

↓昼食 【北方文化博物館】 ↓梅護寺(八ツ房梅・珠数掛桜) ↓孝順寺(安田の三度栗)

・この行程でみのり会日帰り研修旅行を実施いたしました。その折り関係の方々より、当時から「聖人の偉徳」を伝えるお話を聞きながら、現代のように

文化の発達していない時代にあつて、天候に左右されることなく、徒歩で近隣の村々を布教された聖人の御苦労された事を思う時、現在の私といえは、「文明の豊かな中にあつて、不平、不満の絶えない自分」を反省し、「今日一日この様なご縁にあわせて頂いた事」に感謝し、帰宅いたしました。(土田・鈴木)



地藏堂組

※浄専寺仏教婦人会の活動紹介

日帰りバスツアー
安田温泉やすらぎ

(十月四日)

その他の行事
茶話会(毎月十五日)
年四回 境内の草取り
年一回 寺院のおみぎき

(羽賀)



新潟組

○仏教婦人会

総会・研修会(六月五日 於・光林寺) 参加者二九名

・内容 講題「浄土真宗の歴史」

講師 飛永賢一師(長岡組・西入寺住職)

新潟組 研修の旅(十月二十三日)

・趣旨(目的) 寺院参拝と史跡めぐり参加者三二名
参拝寺院 仏性山無為信寺(水原) 真宗二十四輩
本座第十一番

焼栗山 孝順寺(安田) 越後七不思議

三度栗御旧跡

小島御坊八房山梅護寺(小島) 越後七不思議

八ツ房梅・珠教掛桜 両御旧跡

・午前中に無為信寺、孝順寺の順で参拝、その後咲花温泉、佐取館に於いて昼食。

豪華な懐石料理を

賞味、満腹の後は、入浴やおしゃべりで楽しいひとときを過ごしました。午後からは、梅護寺を参拝し、今年度の研修旅行は終了しました。

身近なところで有意義な研修が出来たことを実感しました。

(小山)

○寺院女性会

寺院女性会研修会(四月二十日 於・光林寺)

・昼食会を兼ねた総会の後、与板組雲外寺真敷祐弘前住職より、浄土真宗のご本尊について、そのなりたちから変遷、その意味合いについて、広くお話をお聞きしました。

身近なところで有意義な研修が出来たことを実感しました。

(小山)

○寺院女性会

寺院女性会研修会(四月二十日 於・光林寺)

・昼食会を兼ねた総会の後、与板組雲外寺真敷祐弘前住職より、浄土真宗のご本尊について、そのなりたちから変遷、その意味合いについて、広くお話をお聞きしました。

身近なところで有意義な研修が出来たことを実感しました。

(小山)

○寺院女性会

寺院女性会研修会(四月二十日 於・光林寺)

・昼食会を兼ねた総会の後、与板組雲外寺真敷祐弘前住職より、浄土真宗のご本尊について、そのなりたちから変遷、その意味合いについて、広くお話をお聞きしました。

身近なところで有意義な研修が出来たことを実感しました。

(小山)

○寺院女性会

寺院女性会研修会(四月二十日 於・光林寺)

・昼食会を兼ねた総会の後、与板組雲外寺真敷祐弘前住職より、浄土真宗のご本尊について、そのなりたちから変遷、その意味合いについて、広くお話をお聞きしました。

(九月八日 於・光林寺)

・与板組隆泉寺上戸聰住職より、ヤスク二問題について、連研での資料を元に、この問題をどのように受け止め、考えていかねばならないか、お話を聞きしました。

【予定】(十二月八日 於・光林寺)

・与板組雲外寺真敷祐弘前住職より、お話を聞く予定です。

(眞谷)

巻組

○仏教婦人会

春季仏教婦人会(四月十四日)

・内容 午前：お勤め(正信偈) 法話

午後：脳トレ・ストレッチ体操

秋季仏教婦人会(十月十四日)

・内容 午前：お勤め(正信偈) 法話

午後：親鸞音頭の練習 脳トレ・ストレッチ体操

(風間)

○寺院女性会

研修会テーマ『御文章に学ぶ』講師 丸山文雄師

・テキスト「御文章ひらがな版」

四月十六日(木) 会場 真浄寺 参加十二名

五月十八日(月) 会場 長善寺 参加十五名

六月十六日(火) 会場 本念寺 参加十三名

その他

・十月一日(木)「新潟あそか苑」に於いて、巻組ビハ

ーラ法話会の場でコーラス発表(参加十三名) 終了

後に昼食懇談会

曲目・礼讃歌・しんらん音頭・ひかりのなかに

ふるさと

(頓所)

浄土真宗あれこれ

住職等の呼び方

私たちの教団、浄土真宗本願寺派の本山は龍谷山本願寺といい、京都の下京区堀川通りにあります。本願寺の住職であり、また教団を統裁する人を「門主」といいます。一般的には「門主さま」「門主」とお呼びしています。各宗派で教団を代表する人の呼び方は違いますが（因みに真宗大谷派では、呼び方は同じですが「門首」と書きます）。門主を引退すると「前門さま」、門主後継者は「新門さま」、門主夫人は「裏方」といい、「お裏方さま」とか「お裏さま」などとお呼びします。

一般寺院の住職はどうでしょうか。住職の呼び方は本山と同じように各宗派で違い、また地方によっても違うようです。新潟教区内では、寺院の主、寺院を代表するものという意味で「院主（いんじゅ）」と呼ぶのがほとんどのようです。「院主」「院主さま」「院主さま」等と呼んでいます。住職を引退すると「前任（ぜんじゆう）」といい、「前任さん」「前任さま」と呼んでいます。が、「老院（ろういん）」と呼んでいるところもあります。住職後継者は当来（将来）の住職という意味で「当院（とういん）」といいます。「当院」「当院さん」「当院さま」等と呼んでいます。

それでは住職の妻はどうでしょうか。厳密には少し異なるのですが、以前は住職の妻は「坊守（ぼうもり）」と言われていました。その前提には住職は男性であるという認識があったのですが、当然女性の住職もいますし、女性のいない寺院もあります。

それらの問題から『さくらんぼ』の第二号にも掲載されたように、坊守規定が変更されました。男性であっても、住職の妻でなくても坊守として本山の坊守台

帳に載る人もできてきました。

そのように変わってきて、現在も住職の妻は当然のように、「坊守さん」「坊守さま」と呼ばれていることがほとんどだと思います。もちろん坊守規定にあてはまる「坊守」が大多数なのでしようが、違和感のある方もいらっしゃると思います。

それにしても「こ」を付け「さま」を付け、丁寧すぎる気がします。私たちの教団は同じ教えをいただき、ともに生かされる同朋教団です。もっと親しみをもてるように呼べるといいですね。

※次号へ続く

(麻田克子)

アリガトウ

さくらんぼの想い

前仏婦連盟会長 佐藤美枝子

今年度から教区仏教婦人会連盟の役員構成が活動目標であった『門徒主体の運営』の想いを受けて門徒のみの構成となりました。でも、変わったのは役員構成だけです。会員は今迄通り寺族と門徒であり、そして共にお念仏をよるこび、み教えをいただく活動の会です。教区仏教婦人会連盟活動の案内はお寺に郵送されます。お寺から門徒に、お声がけいただき、朋を誘いあい、皆で仏婦活動に参加しながら共に育ちあっています。さあー皆でお寺の行事、組の仏婦、教区行事に楽しく参加しましょう。それが、おみのりの輪と広がり、仏婦活動の活性化、そしてお寺の活性化につながっていったら・・・モーサイコー！

『人生を 耕させてもらう道 それが、お念仏』

東井義雄

楽しもう！

前寺院女性会連盟会長 黒田吉佐子

雪国にまだ訪れない寒波を憂えつつも、落ち葉掃きが捗るのに微笑む。つくづく身勝手な私の心のありように呆れている。そんな繰り返しの日暮しも、師走となりあと残り少くなりました。

今年度、仏婦連盟役員が全員、ご門徒さんでの体制でスタートしたばかりの六月、新門様直属寺院ご巡拝のお迎えをし、接待係など緊張のなか初めての体験の方もいらしたのではないのでしょうか。仏婦では、連盟の活動の他に別院行事の参加等、不安や途惑うこともあったかと思われまます。任期中には第十四回世界仏婦大会等、親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けての行事が数々執り行われ、他の教化団体と共同しての活動も予想されます。そうなれば寺院女性会の協力とサポートが一层大切になってくるのではないのでしょうか。仏婦・寺院女性双方の交流の場を設け、情報交換しながら親密な関係を築いてほしいものです。

・・・と面倒なことを言いましたが・・・私事ですが、合同会議や交流会など、ほんとに楽しかった二年間でした。お茶を飲みながら「さくらんぼ」の発刊も生まれてきたのです。

ここで新委員さん達にエールをひと言。

「楽しんで！楽しまないで M O T T A I N A I

もったいない」

任期中はお世話になりありがとうございました。

感想・意見等ございましたら、教務所(さくらんぼ)宛にお寄せください。